

「私のおもろさうし」気づき思い。

- 1、先生方の3年赴任システムに伴う負担と、離島久米島の教育への影響
- 2、沖縄本島（那覇）依存が久米島を衰退させていないか。
- 3、先生は特別なもの、それを理解していた時代。
- 4、共感「愚痴」「ゴーチ」
- 5、指定体育着の問題解決。
- 6、久米島のバスは、どこでも乗降できた。
- 7、小さな心の訴えを感じたい。
- 8、3世の父が他界し思うこと。
- 9、9年生を考えてみたい。
- 10、長寿の沖縄県はどこに。
- 11、久米島・仲里中学が消える。
- 12、クルーズ船「琉球からの進貢・冊封御冠船の旅」
- 13、東北大震災2年目の今日思うこと
- 14、カラスとの共存を考えることで、自分を観る
- 15、久米島の現状（負の作用）。
- 16、久米島の境遇から考える TPP
- 17、親子で、母校「仲里中学校」を卒業予定。
- 18、規則にある矛盾、そして個性を活かす事。
- 19、国民の義務を考えたとき。
- 20、アパート暮らしの方が良いと思うよ。
- 21、天妃菩薩さんをお返し願います。
- 22、久米島観光は島民が旗げ転換期
- 23、持ちつ持たれつ（ユイマール精神）
- 24、勝ちがあれば、負けもある。
- 25、第25回記念大会久米島マラソンと台風27号

1、先生方の3年赴任システムに伴う負担と、離島久米島の教育への影響

私たちの学校時代は、久米島出身の先生方が当たり前のように務めてました。

それがいつの時期からか久米島出身の先生方が少なくなり、0か一人いるかであることに気づく、地域で生活も共にしてきますから、ひとつの学校の在年数も長く、その学校環境と地域との関わりもすべて把握してきますので、沖縄本島他から不安で赴任されてきた先生方は安心して学業に専念でき打ち解けることが早い、その安定した環境が保たれる事で、地域子どもたちへの配慮が行き届き学業の土台基本がそこにありました。

私の子どもが中学2年と3年生現在までの経験で、最近では3年での赴任が当たり前、時には2年で赴任してしまう事、そして半分以上もの先生方が一斉に赴任する事で学校地域環境の引き継ぎもおろそかになる。会社を例にあげると半分以上の社員が退社するのと変わらない倒産同然、不安が重くのしかかる。3年間でやっと校風地域環境に慣れたと思うと次の赴任という、当学校環境がいつも不安状態から抜けきれない。

学力向上対策等を考える前に、そんな本来の軸（営み）をないがしろにしたシステムの見直しが必要だと感じ、沖縄本島はまだしも、離島久米島の子どもたちの学業への影響は大きい、その犠牲になっていないかも考える。その地域特性経済と子どもたちの学力は比例すると思いき、その子どもたちがもつ源実力を受け止め、それをベースに学力を積み重ねて頂きたい、そぐわない学力向上を無理強いに図ろうとすると源実力も発揮できない悪循環が生まれる、その為には現場先生方の安定した環境が必要、資金経済に乏しい離島は学校に頼らざるを得ない現実、子どもたちへの対応接し方は本島都会とは違うことを把握頂きたいと思います。

2、沖縄本島（那覇）依存が久米島を衰退させていないか。

久米島の中学校でスポーツのできる子、学力の優れた子、文化（音楽）系に優れた子となるとそれ以上の環境（指導者）が見込めないで沖縄本島（那覇）に依存し、ほとんど本島の高校への推薦及び入試（区域制限をなくしたのも離島には痛手）傾向が現状になっている、本島に近く利便そして生活も豊かになったこともあるので久米島に環境が無くてもそんなに気にしない、離島であることを忘れさせ中途半端を感じさせる。

その現象が久米島の衰退及び過疎（ストロー現象）への進行を早めていることに懸念、少子化に伴う学校統合問題が大きいのしかかることを考えると、もし久米島町が「久米島の子は久米島で育て世界に旅立たせる」とのスローガンをかけ、環境、指導者、奨学金を充実させ、久米島での最終学歴を久米島高校とし、各それぞれの優れた子を島外への流出をくい止める努力をする。例えば野球だと、沖縄県大会ではベスト4のチームはいつでも出来ると思います。今まで沖縄本島の名門校に推薦、入試で入学しても、そこは県内、

そして県外の一류プレイヤーが勢ぞろいするところで、久米島民は本島依存（コンプレックス）が強く、自分がレギュラーになるんだというハングリー力が劣るやさしい人柄がマイナスに働く、実力はもってますがモチベーション（本島依存による離島民ハングリーが途絶える、島イジャーになっている）がいまいちで補欠で終わってしまう、それが悪い訳ではないのですが何か寂しい、親としても我が子が試合にでる確率があがれば幸い、その秘める実力ある子が沢山です、その場を多く踏ませばもっと良くなる、モチベーションがあがれば、他の子も刺激され全てが相乗効果を生み出す、甲子園出場も夢ではない、久米島（国）意識が育ち、大人になってもそれが基になり久米島の力にもなる。

私たち久米島の子は私たち島民で守り、そして宝ものに育てる人材育成の一致団結がそこに生まれる。（久米島の多大な問題にも対応できる軸ができることになる）

他案

- ※ 離島ですので、ネット通信による専門的授業専攻を考える。
- ※ 久米島の中小企業（製造業）とタイアップした各関わりのある人材育成を久米島高校で選択授業に組み込み、その企業への雇用まで保証される、海洋深層水の沖縄県との連携も考える。

3、先生は特別なもの、それを理解していた時代。

「先生にゲンコツされた」「おまえが悪いことしたからだろう」このやりとりは当たり前だった時代から、なんでこのような学校環境になったのか、学校のあり方そして義務教育のあり方が今の時代には合わなくなつたのか、先生は天職（国を担う大事な子どもたちを託す）から労働者に変貌させた日本の教育という、人間の損得感情から生まれる色々な弊害、大人が作り出す責任逃れの負が積み重なり麻痺状態、その事から自分の立場を守るために見てみぬふりをしてしまう悪循環、責任当事者でありながら他人事のように言い訳の言葉となる。今度の中学生（大津）のいじめによる学校不信にともなう無言訴え行動自殺により、学校関係責任者の不信感そして学校教育の現実が如実に現れてくる。子どもたちはそんなことの日常環境で大人のいやなところを切実に感じている、子どもたちの小さい心がパンク状態で悩み苦しむ、そこから脱却したい気持ちは私たち大人では理解できない（してくれない）大変さ、そして打ち明ける事もできない現実。私たち大人も変わらないといけない、日本の教育のあり方を変えないといけない、それを可能にするのは真っ白に原点に立ち返り、先生と言う天職を復活させること、現場（子どもたちが居る場所）を一番に考え。

この久米島でも、いろいろな学校問題を抱えています、他校ごとではない同じことをしかねないのも心に止めながら、少数の意見をどれぐらい把握できるか学校関係責任者には

十分考え、子どもたちの立場になり（アンケート等） 厳重な把握対処を肝に命じてほしい。私、久米島でも学校とは何か考え直していくひとりになればと思う、そのひとりひとり寄り添い考えることで良い方向に向かうことを願います。

立場を守ろうとする組織は変わらない変えきれない事に気づく、少人数の意見など組織は受け取ってくれなくなる事に気づく、それを受け取るとその責任者が大変になるから知らん振り、（アンケート等） 見てみぬ振りをする事に気づく。携わる人それぞれの責任ではない、都合が悪いのは蓋をしてしまい、早いこと対処すれば膿みにならないのに、癌にまで成長させたような、本来なら治療薬そして医者役目であるシステムが病原菌になっていることに気づく。

思い考えていることはその子に感謝しないといけない、同じ年頃の子を持つ親としてご冥福をお祈りします。

4、共感「愚痴」「ゴージュチ」

二十四の瞳の木下映画が、この時代になり映画界からの取り上げられているとテレビ。あの時代末端（弱い）の子どもたち、そして翻弄された大人たちの気持ち思いを描き。女学校のひとりの生徒「なんで女性が外へ出て働くことができない」、ひとりの女先生が悩みを持つ女生徒へ「私も解決策は分からないけど、先生も一緒に泣きますので大丈夫よ、いつでもいいから話し泣きにきなさい」、息子を兵隊に送るひとりの母親の気持ち、ひとりの母親がいつも共感を得ようと自分を確かめることの「愚痴」「ゴージュチ」をどうとらえる。華やかな成功映像の裏、取り残された弱い立場の気持ちをどこにブツケテ良いのか「愚痴」としてとられてしまうその映像が、今の学校問題、社会問題へのメッセージとして私たちの心に描いていると感じます。

あの時代その「愚痴」「ゴージュチ」を受け止める寛大な人も多く存在していたと同時に、共感できることのありがたさを感じられる時代があったと思う。

5、指定体育着の問題解決。

私が高校1年の指定体育着の件で問題が起き、1年生全員と先生方との集会交渉までいく大問題というかそのときのことがわすれません。

久米島高校入学にあたり、私たちに支給された指定体育着の色は赤エンジ色、そして思春期の男子には、ほんとに嫌な股上が短くその部分がクッキリとわかる、ほんとに着辛く体育の授業も嫌になるものでした。

時間が立ち、次第にその指定着が嫌で、それぞれ別の体育着を買い、色はそれに近い色を着るようになり、それを先生方が気づきだし規則違反とのことで指定体育着の使用徹底にのりだし、どうしてもこの指定体育着を着るのが嫌な私たち生徒との確執が生まれましたが、先生方も生徒の理由言い分を理解してください、私たちは特例で許していただきました。

その集会の生徒のリーダー、そして先生方の寛大な取り計らいで、決して頭ごなしではない、大義主張が正しければ事は解決する、校則はその基本であり見直しもひとつのように教育が感じられ、その時のことは私の胸にズート残ります。

6、久米島のバスは、どこでも乗降できた。

私が学生の頃は、久米島のバスはどこでも乗降でき観光客にもこっけいな信頼関係がそこにある思いに感心する。「ワッター ヤー ンマデーグトゥ トゥミティトゥラヒバ」「私の家は近くだから、そこで停車して降ろしてください」、又、乗るときも自分の家近くで待ち、手を上げると停めて載せてくれる、そんな島民に信頼されるやさしい路線でした。卒業し本島那覇都会にでて、学校、就職と経て、島に帰ってきたらその光景は薄れてしまい、シッカリとバス停留所が設置され、信頼関係の環境が消えてしまうひとつの現象ではないかを感じる、田舎この小さな久米島にはそぐわない決まりが押し寄せてきたひとつの現象だと感じる。

最近役場に行くのが多く感じる事が、親も年とり字を書けない手続きの厳しさに臆劫（役場ウツル）になり役場が怖いと思う島民が昔より増して多くなると感じる。家族親戚の代理で、私が手続きに行くことになるが、家族であるのに委任状が必要になる。委任状が当たり前になる、良かれと思う私も臆劫に感じる事が多々ある。

昔、今でも久米島その規模では、役場職員はみんな顔を知っているはず、いずれか親戚同級生もいる、旧仲里村役場が頼もしく信頼関係があったように感じる。顔パス！お互い様の離島久米島の良いところを顔見知りの信頼関係を見出したい思いが多々ある。

人口は少なくなり、合併による規模は広くなることに何か意味があるのか、そのころから息苦しさをかんじることの離島にそぐわない決まりの弊害がそこにひとつひとつ感じる。

7、小さな心の訴えを感じたい。

大人主導の学校環境、子どもたちの小さな心を感じたい。

久米島統合問題も子どもたちの小さな心を第一に考えたい。大人そして教育環境に携わる方へのメッセージがこんな形で表に出るのが悲しい。考え思いたい。↓

http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/130215/waf13021520300025-n1.htm

8、3世の父が他界し思うこと。

継承して行きたい・・・

久米島の歴史を育んできた、土着人私たち代々の先祖達のことを思うとやりきれない思い、私の代で4世の代になる、300年以上の時「トートーメー」にその重さを感じる。

イーマールー時代の長男制度のありがたさを感じる、現在、その風習が薄まりつつある事実その価値観も遠のいていくのか。

島に生まれた宿命であることは肝に命じているが、その感覚が通じない社会、離島であることを忘れつつあるこの久米島、父の兼業で私も裕福になった久米島建設業界の仕事（公共工事）切れの苦痛、基幹（生活の糧）作物さとうきび生産者農家の苦痛を感じてくれない社会。

久米島の土着人が育んできた歴史大きな価値が分からない社会、よそものコンサルに頼る事実、しまに根ざした公共物は土着人のアイデアが必要、それが歴史を刻む、コンサルに委ねたその箱物の尻拭をさせられる島民の事実、その嫌な思いを表にださない、うけつないできたやさしい慣習の土着人は仕事がなく、その苦しさから病、ストレスによる早死、そして島を離れてしまうひとつひとつの事実、そのあとをよそものがひとつひとつ進入してくる事実。

継承したい、しかし歴史を育んできた土着人の価値を感じてくれない事実、守りたい世代の根元久米島を、その思いがあればあるほど気持ちが滅入ってしまうどうしようもない事実。

空地、空家は点々とありましたが、最近「売地」「売家」の表示が点々と増えてきている。役場からの相談広報もながれ、その業者仕事も増えるてる現実。

その現象をどう感じるのか、その答えはどこにあるのか考えてみたい。

9、9年生を考えてみたい。

「美崎小学校を美崎校区から無くさないように」

中学校の統合案も考えながら地域に学校が残る9年生学校中学校まで美崎で学ぶことで美崎校区（地域活性維持）がバックアップする案！

最近は複式学級になることで美崎小学校もひとつひとつ統合される現実味を帯びて、子供達が少なくなる事は明らか、町も整理縮小ムードはスピードアップ傾向、学校維持ができないから統合してその場をしのぐような感じがします。

だったら美崎校区が何か出来ないのかと考えると9年生の考えが浮かぶ仲里中学校、小学校はどちらで9年生学校をするかで閉める学校を考えてもらう、美崎校区もそのまま美崎小学校での9年生学校ができることで地域に学校が残る。久米島中学校、小学校は隣同士で言えば9年生学校の話は早いかもしれない。

現在、仲里中学校と久米島中学校の何処に統合するかで困難状態だと思いますがその事も克服できる。旧仲里村は美崎校区、仲里校区、久米島校区と地域に学校が残ることになる。

それを思うと旧比屋定小中学校は理想の学校としたらもったいなく感じることは無くなって分かる。

10、長寿の沖縄県はどこに。

琉球王国から異文化に翻弄され琉球沖縄久米島が病んでいる。

私の子どもの頃の久米島（沖縄）は気持ちの良い時間がながれ、重苦しい（ストレス）を思うことが無かった、暮らしは乏しいものが有りましたがいつも晴れやかで、久米島の自然も一緒空気が綺麗で田園に囲まれ、いつも守られているような環境が思い浮かびます。

本来は正月から月の旧暦祭事で時間、食事、生活形態で暮らす島なのに、こんな琉球沖縄久米島ではないはず、琉球沖縄久米島本来の生き方を取り戻せば、又すぐに長寿1番です。

何でも受け入れてしまった、琉球沖縄久米島の寛大やさしい国民が本来の時間を取り戻すためには今一度、島民私たちがルーツを思い起こしながら反省方向性を考えたい。

1 1、久米島・仲里中学が消える。

「新校名」のアンケートを手に取りました「寂しい」
何か、自分の一部をもぎとられるような気持ちになりました。

旧歴での教えが沖縄でも消えてしまいそうな心配があります。
今のように情報が過剰すぎて何を信じて良いのか逆に不安が多くなることに、旧暦から考
えられるのは必要不可欠な地球上すべての自然生き物たちと共存しようとする教え参考書。

地震被害の多い東北及びその他の地は、先祖代々からその地名に忘れてはいけないメッセ
ージが秘められていると唱える「温故知新」ですね。

そのことを忠実に反映すれば原発もそこには作らないと被害も最小限に抑えられたかも後
悔は先に立たない。

久米島でも合併統合とかで地域地名学校名をないがしろにし、目先の利便性、政治の簡単
かつ他人事解決に埋もれ、その大事な唱えを語る方たちをないがしろする、「オジー、オバ
ー、の言う事は聞いておかないと」先祖の教えは経験上の簡潔な教えであるが、それをい
つの間にか消し忘れてしまう。すぐそこに解決策はあるのに先祖崇拜かな、思い続けたい、
唱え続けたい。

当事者（現場）の言葉を反映できる政治にして頂きたい、また当事者（現場）もその継承
唱え続けたい一番はそこに住んでいる私たちです。主導権があると思います。

寂しい思いをしているのは、私だけでしょうか？

1 2、クルーズ船「琉球からの進貢・冊封御冠船の旅」

本部港にクルーズ船が停泊とびっくりした。

下記体験を、琉球王朝時代の本部港（今帰仁城）→久米泊港（首里城）→久米島（チナハ・
仲里・登那覇城）黒潮を乗り越えるための停泊地→中国（福州）と壮大歴史の船旅。

冊封・進貢船の説明下

<http://www1.cts.ne.jp/~fleet7/Museum/Muse034.html>

久米島の適した停泊地の説明↓

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/kuro.htm>

とまりんの経営難からすると、クルーズ船の誘致はいい案とひとりで想像してます。↓

http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-03-03_45991

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/mimattp/makou.htm>

クルーズ船の観光歴史認識、「壮大な琉球王国ロマンの旅」と各自治体のタイアップを期待します。

13、東北大震災2年目の今日思うこと

被災地復興の壁がいくつも、住宅地に変更したいがお亡くなり、そしてズート前のおじいちゃんの名義、伴う外国に移住でその土地にはいない捺印が必要、過疎による原因での名義変更の困難、「民法の法律改正」が必要と朝のラジオでたぶん政府の小野寺さんのコメント。

それを言うと私たち久米島（沖縄）にもその件は多い、「あなたにその土地はあげます」口約束でズート前のお祖父ちゃん達は名義変更もしてないので名義変更したくて相談に行っても困難そっぽ向かれる、無料登記法律相談でも経費多額と見積もられる、戦争火事で沢山の役場必要資料喪失もある、その法律が改正されれば沖縄の困難も明るみにでて払拭されるひとつの民衆の悩み。

あの艦砲射撃そして、米軍の地上戦の大津波、いまだに爪痕が消えないでいる琉球沖縄、東北大震災大津波がその思いをひとつに考えさせている。

WBC 日本をテレビにかじりつき必死に応援する自分を、久米島（沖縄）の自分は日本人なのか？と頭をよぎることが最近。無理やり「方言札」をかされ、日本語（共通語）を喋るようと教育学校生活をしてきた自分の世代の葛藤。

東北大震災から2年、沖縄のおもいが東北に届く、そして東北のおもいが沖縄に届く、その気持ちが島国日本をひとつにしていることを自然の力が訴えています。考え思いたい。

14、カラスとの共存を考えることで、自分を観る

カーラースー ナゼ ナクノー カラスハ
ヤーマーニー カワイイー ナナツノー コガ アルカラーヨー
カーワイー カワイイー ト ナクンダヨー

ゴミを食い荒らしちらかしほうだい、ゴミの収集日をカレンダーに記載しているかのようにゴミの置き場所を点々とする。野外でのバーベキューは空からすぐに察知偵察、ひとの行動を見逃さないおぼれちょうだいのすごい知能。農作業の手弁当、いたまないように風通しの良い木の枝に下げておくともちさり、楽しみの弁当ここにあったはずの弁当がない。農家、外勤作業の方を悩ませる、なんとゆう観察力。

生ゴミをUパックにくるんであることも学習、それをほじくろうとしてゴミ収集日には目も当てられないほどの散乱。

このカラス、生ごみタライに入れ（肉類は別）放置してどうぞ食べてとすると意外と行儀良く食べてくれます、たまにUパックに入れたりするとそのUパックを食いチギローと必死の状態、案の定ちらかしほうだい。

近くで見るとカラスは怖いのが本音、嫌がられますよねー、でもカラスも私たち同様、生きようと必死で知恵をふりしぼり食を求める。

人の行動習慣に比例するカラスの行動、もしかして人の習慣が変わればカラスも意外と可愛いものかも。

http://www.town.kumejima.okinawa.jp/life/kitchen_garbage.html

http://www.town.kumejima.okinawa.jp/life/gomi_recycle.html

カーラースー ナゼ ナクノー カラス ノ カッテデショウー

カラスとのいたちごっこ。

共存の日はいつになるのか、私のテーマに！

15、久米島の現状（負の作用）。

久米島の収入源（公共工事、基幹サトウキビ）がなくなる、貯えから公共料金税金を捻出、それが段々底をつき、金融関係の補いをたよるが無駄意味をなさない現状、収入源がないので資産の切り売りになる、スムーズにいけばいいが名義変更がなされていないのが久米島には沢山あるだろうと感じる、上手くいったとしても良いのか悪いのか、最近、売地家の看板があちらこちら、そしてその関連業者も成り立ってきているのが垣間見える。

町の離島活性化事業に伴う独立営業（自主財源）するにもこんな弊害が多く、やる気はあるけどそれに気持ちを削がれてしまい上手くいかない、機関に相談に行っても「もう、やめたら」の言葉が投げられる、気持ちを聞こうともしない相談会の意味も成さない。

公共工事、基幹サトウキビの兼業でバブルがハジケタと思われるココ十数年の時で久米島が変わろうとしている、久米島島民はその病気を治そうとしているのに、その薬変わりになるものそしてお医者さんが存在しない。一緒に分かち合えることができない他人の負の現象。

世代の引継ぎの狭間、その久米島島民ひとりひとりの秘めた財産も整理しないとばらばら状態、それが基本となることも今にして分かってくるが、イザ、町の相談会にいくとその手数料は10万～20万と見積もられる、こじれたらいくらになるかわからない、名義人と所有者の理解も難しい。法務局も閉鎖。業者に頼まなくてもインターネットの普及で簡単な手続きは出来るけど法務局がない、今に利用する目的は多くなるが沖縄本島に行かないと出費はかさなる。離島苦があれよあれよと進行している現状。

どこに相談しても悩みが積もるだけ、悪循環どうしていいのか怒涛にまよう。

島民根本基本の悩みからひとつひとつ組み上げ結まーる助け合いの心でクリアしてゆけば、豊かな久米島がみえて来るような感じがします、離島です法律がそこにはすぐわない弊害さもあることも考えてもらわなくてはと思います。

「株式会社カルティベート」の比嘉梨香さんが↓

<http://honma.ti-da.net/e3389021.html>

「お願いします」久米島島民（土着人）の苦しみ悩み苛立ちをその立場にある方に分かってほしい、身をもって気づいてほしい。

競争する都会ではないです、離島民は人ごとにせず「いつかは我が身」で、助け合い思いやり結まーるの心を持たないと成り立たない離島久米島の悲鳴を感じてほしい。負の作用進行は加速している。

16、久米島の境遇から考える TPP

島のマチヤグラー（地域のコンビニ）が大変になるヨー！

島に、生協（グループ購入）が進入、そこに輪をかけての農協一本化 JA グループの島商品卸業者を利用しない衝撃、資金力のあるほとんどの業界が島に乗り込む、島民も安いものが当たり前の方向に、雇用は多少あるにしても売上も島には残らない、購入消費することで何時かは自分に利益をもたらすことも寸断される事に気付かず「金は天下の回りもの」島にお金が残らない助け合い内需の崩壊のよそ者支配化になる。

<http://kotowaza-allguide.com/ka/kanewatenka.html>

よそ者に久米島の財産を全部もっていかれ、久米島の何百年の内需文化努力、ぶつぶつ交換結まーるの心価値が、よそ者文化価値（競争価格）が飲み込み支配しようとしている、イヤ！すでに飲み込まれ支配されている感じがする。

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/kantuku/saiji.htm>

何世代（何百年）も生き住み続けてきた島民（土着人）が思うようにできなくなり辛く、財産全部もぎ取られひとりひとりいきずまり島を離れていく現象も日々増す。

いわば大陸から考えれば日本も島国、久米島小さな島、そして琉球王国になされた境遇を今度は日本が体験することを TPP で感じる。

「島は助け合い結まーる内需の心がないと生きてゆけない、島の経済は島内で保ちながら外金の観光及び特産品の活性が豊かにする」と島民（土着人）は訴える。

そのよそ者を制御しないといけない小さな島の行政政治は「長いものには巻かれろ」、よそ者の交渉力、そして資金力を見せられるとそれに乗っかるしかない事実。

昔、琉球王国時代の中国との交易では上手い商売がなされ、お互いに有益だったことが歴史に残されることで TPP を考えたい。

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/mimattp/busado.htm>

17、親子で、母校「仲里中学校」を卒業予定。

親子4名下の子が最後の卒業生予定となる。

仲里中学校が統廃合と決まり、今年で最後の年になり、自分の子供がその犠牲にならないか危機を感じてたのも嘘ではありません、ぎりぎりのセーフですが最後の卒業生予定となり気持ちの良いものではありません、複雑な思いで納得しての統廃合では無いからです。

なにか大人都合の良いように事が運んでゆく、こんな簡単な問題ではないはずなのに、こう思うのは私だけでしょうか？

親子共に、美崎小学校そして仲里中学校を卒業したことは私たちのキーワードととらえ、そのことを親子で語りつなげたらいいかなと思いのひとつにしたいと心に感じました。

悔しくもどかしく寂しいですけど。

18、規則にある矛盾、そして個性を活かす事。

娘は部活に今夢中です。

でも小学校も行かないころからピアノも習い、運動部チョット負担かな2足のわらじを踏ませ得ないかとひとつに集中させたい気持ちですが、中学入学すると全員部活制（中学生徒の人数が限られ維持充実させたい気持ちは分かります）と言う大きなハードルがこの子たちに降りかかる、娘はピアノの習い事中心等でそんなにスポーツは重要にしてませんでした、私もどちらかと言うとスポーツが好きですからボールとか走る姿を観たい気持ちが大きかったが2頭は追えないので1頭の私が捕まり檻にはいり、1頭を追う協力にしました。中学生部活の選択肢は女子はバレー、バスケ、ボランティアどちらかの選択でバレー部を選ぶ、基礎が出来ていない子が同好会のレベルとは思いますが、バレー部としてとなると私は無理強いかたと心配もしイライラもし、それが学校の規則となるとこの子にも余計に負担をかけてしまう悪循環が気になるので見守るしかないと、なんやかんやと色々ありましたが、今度で最後の大会この規則壁をクリアできることで娘をほめてあげます。

ところがその大会とピアノの発表会（オーデション）とが重なり大きな弊害規則がまたそこで生まれました、遠征は離脱ができないと離島である久米島、そのピアノの発表会も本島、遠征が終わり今日久米島へ変えるが、娘は「JTA タッチ&ゴーにてご搭乗いただけます。当日は直接保安検査場へお越しく下さい。」こんなメールも JTA さんから丁寧に案内される

も、その便にまた乗り込み本島へ、板挟みになる先生も申し訳なさそうに私に電話がある、「大丈夫ですよ、規則ですのでしかたないです」泣き寝入りますが、お互いに矛盾を感じる規則に翻弄され気まずくなる。現場はいつもこうですよとクリアするしかない、泣き寝入り吐き出す場がなくて愚痴てしまい、そして娘当人の耳に入ってしまう娘も怒る、一番傷つくのは当人ですね「お疲れさん」と言わないといけないですね。

この前のサッカーでの本田さんのコメントで「個」を前に出す、チームワークは日本人が当たり前にもっているもの、その上に個性を前にだせば日本はワールドカップ優勝も間違いないと強く叱咤激励と自分を奮い立たせるように言う。

規則はあります、その規則は当たり前のこと、それをベースにした「個性」を磨いてやりたい、そのチャンスを子どもたちにたくさんもたせてあげたい、ベースである規則もその個性いかせない大きな壁にもなりうる。

巨人の桑田さんも言う。「カーブ、インハイ、シュートそんないっぱい練習できる時間は無い、アウトローそれだけ極めれば投手の武器になりすべてに安定しピッチングに幅がでる」頭で考え集中する練習を、そして指導者はその個性を活かす練習を選手に求め練習の意味を考える。勉強でも数学、国語、社会何でもいいひとつ極めて自信がつけば、その方法を取得するので他の教科も自ずとよくなる、わたしも自己主張できない中学校時代でしたが高校にはいり長距離（駅伝）で足がみんなより早くなるにつれ、言葉もでるようになり意外に勉強にも自信がもてたような気がする自論です。↓

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/oremi.pdf>

19、国民の義務を考えたとき。

平成6年に久米島に帰って会社で働くようになりそれが建設業、当時久米島バブルの余韻を残し建設業者は30以上あったと思う、それも公共工事依存で工事の奪い潰し合いになっていたと言っても過言ではない、当社は久米島建設業の老舗で業者間のまとめ役としての社長の苦しみ思い出される。当社の従業員は下請けを含めると50名以上、当時そんなに雇用している会社はない本島進出の考えもない島に貢献する思いが強く、サトウキビの兼業の従業員でも社会保険への加入も申し受ける、それだけ従業員の気持ちにたった会社だとおもいました。当時従業員もまさか会社が無くなることなんか考えもしない居心地良く心配してなかったと、それがバブルに振り回された会社はニッチもサッチも行かなくなりはじめみんな路頭に迷うことに、それを皮切りに建設業がバツバツと廃業に落ち入ることになる平成10年頃と思います。私も職を失い自営（IT、インターネット特産品販売、

町の活性化開業促進講習も積極的に参加するもイザ開店運営に困ると相談場所が途切れ後悔する現状) でどうにかと思いましたがそんなに甘くはない勤労の義務にもなえ、そして納税とか国保税の滞納者と汚点が目立つようにもなりました安定収入が見込めない個人事業そして農業、漁業従事者の重い悩み(国保税滞納していると言うことで保険証も受け取り辛くなり受け取らない人もいる、そして病院にも行き辛い、そのあげく大病を患いその高額補填をしようと思ったら滞納分を払わないと出来ない、家族が立替出来れば幸いと悪循環)、仕事収入がなくなると収める義務へのプレッシャー悩み大きくなる。現在は家族の扶養として治まり奮起も断念し情けない自分もいる、こうした家族がいれば幸いですがどうしようもない、催告状の告知その整理だけにとられ成績をあげてどうにか助成を削られないようにと必死かもしれませんが、その前に久米島にどれだけの農漁業仕事会社が廃業等で、どれだけの町住民が路頭にまよい、そのプレッシャーに悩み要因で島を離れざるをえなくなったことはまだしも最悪な状況に落ち入る把握もして頂きたい、離島苦としての住民ひとりひとりの気持ちを尊重して考えてもらいたいと思います。そのひとりひとりの住民が元気でないと自主財源の納税、国保税の納付率もはじき出せないことを感じます。雇用が安定している時は考えもしない事です、あたりまえの事ができなくなる現実、見回すとほとんど公共建設業とサトウキビ生産の兼業で成り立っていた久米島と思う、その交付助成金も見込めない現在、久米島住民本当の自主財源が見込まれる特産品販売及び観光業への重きを置いた将来性のある指導周知を平行に、滞納者への不安要因を少なくすることで応援励みとなり、0よりは1000円、1000円でも良いからハードルを低くする対処をとれば納付率も自ずと上向きになり、将来の子供たちへ気持ちよくバトンを渡せるようにしたい思いです、そのためのアイデアがほしいです。

※私一族で把握してみると、いろんな境遇のなか、ひとりひとり久米島を離れそして若くして遠くへ逝ってしまう、その人数を参考に久米島単位を考えるとそのままでは土着久米島人がすべて消滅しかねないことを感じる今日このごろです。

<http://www.citizens-i.org/kenpo/paper/duty.html>

20、アパート暮らしの方が良いと思うよ。

こんなことを会話にしたことを思い出し今にしてわかる。

私「将来は一軒家が夢です」おじさん「むりしないでアパート暮らしの方が良いよ」
その時は、アパート賃払うよりローンを組んで家をたて、その家賃を払い続け完済すれば
後は楽と思ひそれが一般の夢であり、その時は何で人の夢を削ぐような事を言うと思ひま
した。その夢も、会社解散で失職し断念しました不幸中の幸いかなと今は思ひます。

久米島でその夢を達成した人を羨ましく思ひ時もありました、しかし自分の実家、そして
兄弟、親戚、友人、その他の大変さを目の当たりにする。

公共工事依存での久米島沢山の建設業が解散に、その従業員が路頭に迷うここ10数年近く
苦しい思ひをする、家のローンにそして固定資産税が大きいのしかかる、ほとんどが鉄筋
コンクリート造で以外と査定は大きい、税金の矛盾も感じる、生活しないといけぬ家を
担保に相談に行きますがローンがある時はその家は所有物担保の意味もなさない現状、と
ころが固定資産税はしっかりと資財産として査定され、ほんとに矛盾を感じる。

「お金は無くともローンを組めば夢が叶いますよ」と詐欺にあつたともみうける状況（サ
ブプライムローンな感じ）久米島バブルがハジけた現実。
ほんとに感心苦しいのは「借りた人が悪いのだから返さないといけぬ」当人の苦渋の言
葉に悲しい思ひも感じる。

この離島過疎のホント重大な問題、他人事ではない助け合ひが必要、琉球王「尚真」だつ
たかな、戦国時代に年貢の大変な庶民に対して、模合のルーツとなす、沢山余分に貢物
がある人はない人の分を補ひ助け合ひなさいと住民を楽にさせ琉球を守つたことが沖縄には
ある結まーる（イーマーラー）お互い様。

昨日母から電話「固定資産税チャーガラ、ヤスマランガヤー」「チャーナランドー ナ
ーナイーネー ティーカラハナチ ウミナークナユヒ ル マチュル」泣き寝入り「チャ
ーンナラーヒガ、チチャンヌサデール」収入源がないところに年貢はない、この矛盾をど
こに打ち明けければ良いの、この悲鳴をだれかとらえてほしいと思ひます。

「アパートに住んだ方が、良いですね」と分かる。

21、天妃菩薩さんをお返し願います。

電話がありました、その方は隣のお姉さんでした「ブサードーの天妃さんがよその地で寂しそうにしているよ」と亡くなった兄の思いを残しておこうと期（HP）したことが、少し少し明らかになり、ひとりひとりの祖先が子に気づかせ地元歴史の大切さ浸透の兆しがこうして知らされる。風の便りでは、戦争中に米軍の方が持ち去ったとか、最近現代に盗難にあったとか、それで天妃さんのレプリカでお守りいただくことの心のいたみも感じる。それが琉球処分島の住人偉いさんも、本土の偉いさん（島津と思う）に従うしかなかったのであろう、天妃さんはその人にお土産としてもち行かれたのか、またその方から感謝状（お礼状）等が久米島文化センターに残ると言う、その時代を如実に想像できる。

いままで、こうした事実があるのになんでと、久米島の守り神その経緯の発見者が具志川間切、それから真謝のほうに近いとそして仲里間切の近くで遭難した冊封使を助けた、それは久米島挙げてのこと、その感謝の念で※1756年に天后宮を真謝に建立し、冊封正副使他が寄付及び寄贈品など送助、琉球国王（尚穆18才）も瓦、工費を用立て命令で建立したもので、久米島でしかこの天妃様の思し召しはないはず、返還交渉を久米島ひとつに行うことができたはずなのになぜと思います。

心は通じます、その天妃菩薩様が寂しそうにしています、思し召しくださることは久米島の地でしかその効果お守りはされてない、今現在、あの表玄関（仲里間切）であった真謝（美崎校区）が裏地になって寂しくなっているのも因果しているようです、そして久米島の現状のありかたにもその思し召しを感じるしだいです、心のよりどころをなくして分かる、分かっている対処がないとなると、先祖が怒るのもむりない、地元の歴史を大事にしたうえでの現在の社会貢献繋ぎの歴史を刻みたい。

このページ観て、心当たりのある方もそう感じてくれることを期待し、出来ればお返し願いたいです。天妃菩薩さんが寂しそうにしています、そして久米島が困ります、その時の中国の王様も納得しないでしょうと感じます。

今亡き兄そして、当初そのことを期した美崎小学校50周年記念誌発行の方々の思いがここに残る。

菩薩堂（ブサードー）天后宮跡

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/mimattp/busa-do.htm>

冊封頭号船航海（天妃菩薩）物語

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/mimattp/busa-kami.htm>

22、久米島観光は島民が旗げ転換期

JTA 久米島ジェット便が全便カットされそうです。↓

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-186397-storytopic-4.html>

子会社の RAC に全部移管するようですが納得いきません、金額は当時の往復割引（1万円程度）に出来るのであれば納得しますが、子会社への移管で取り分があります、今でもジェット料金とプロペラの料金が一緒ですので変更は無いです。空港が上等になりそしてジェット就航に紛れ便乗値上げ（往復1万円が2万円に、離島割引1万5千円）の感じで生活路線久米島の島民の大きな負担でしたが、今まで我慢して利用して来たのにこんな、そうなればすべて沖縄離島路線は断念して貰い、元の南西航空（RAC 独立）を復活させるいい機会ではないでしょうか、本来のサービスができないのであればやめてもらいたい、営業するにも虫がいいですよと思いました。

なんで？

過去、南西航空がなんで日本航空の傘下 JTA になったのか？

会社再生は子会社から切り離しますがなんで JTA が鶴丸なの？SWAL のロゴだったのでは？ 離島の多い沖縄、会社としてはやはり採算とれ生き残れる価値がありますよね、「南西航空ローカル便」も今思えば原点、島があり、島民が生活しているから成り立つ航空、船輸送業界です。ショックですが、「島民」「観光客」によりよいサービスをお願いします。

JAL 問題から、うろうろ考えてたらありました「南西航空」なつかしい！

みなさん賛同して復活の夢近し、サイトへ見たらわかります、昔のよきフライトが↓

<http://www.swal-nansei.nu/index.html>

格安航空の競争があるなか。 離島の多い沖縄、輸送の多い沖縄、観光の沖縄、沖縄の企業さんでアイデア（出資）を持ち寄り沖縄独自の航空、船輸送を考えるとところに期待してま。期待したい投稿がありました。↓

<http://agora-web.jp/archives/990827.html>

久米島の公共工事依存も、現在は予算がないのですから工事も少なく0に等しい久米島の仕事の大半が建設業で、その生活の糧である会社があちらこちらで解散、「久米島のバブルは、はじけた」そのつけが、今にして価値ある観光資源久米島の自然を破壊してしまった事に気づく！再生しましょう一つ一つ、昔の綺麗な久米島を取り戻し観光の島にし、たくさんのお客様を招きましょう。久米島の規模ですとすぐに周知でき島民で観光業に携わる転換期です。 歴史を変えるときです。

23、持ちつ持たれつ（ユイマール精神）

小売業の商売自営で気づいたことですが、お客さんにいい品を提供しようとそこまでたどり着くまでには経費予算が必要、メーカーさんからものを仕入れお客さんと最終受け渡しの成立を担うのが小売業（マチヤグラー）、メーカーさんも最初はこれもあれもと沢山の仕入れを進める、その売り買いを成立させるまでは沢山の努力と接客、資金が必要になる、そして末端でかぶさる、メーカーさんもその負担が大きくなると商品を止めてしまうことの仕打ちを最近では当たり前のように、良いお店悪いお店も一緒に観てしまう悪循環と思われました。

わたしが今まで信じ、久米島には必要と活用してきたインターネットショップモール、そこにもひどい仕打ちをもらいました。

一生懸命に信じ付き合いやっているうちは正しく見えるのが、一旦蓋を返したような対応されると自分がバカを見た感じ、そして失敗して見えてきた大きな間違いがあると思える勉強をしました。

大企業もこうなる日本、大企業だからこうなるのかもしれない。日本の持ちつ持たれつで活性してきたあの時代はくるのか、あの世界にほこる町工場中小零細企業の復活はあるのか、日本教育も一番大事なことをないがしろにし学力重視の痛手、その技術も外国に流出する勿体なさ、そのことを一番理解していた日本はどこに、沖縄久米島はまだそのユイマール心を忘れていないことを願う今日このごろです。

本来の人間の営みのなかの経済効果を基本に願う、アベノミクス競争、お金でお金をかう、何でもかんでも生き残りしのぎ合い潰し合い、要領のないそれに残れないのはпой、こんなんじゃないよおかしいよこれと、ほんと互助心、醤油がない「隣でちょっと借りてきて」「トゥナイ ンジ ナマグラー イラティチョーキバ」、お店に醤油買に行きたいがお金がない「サガティ コーティチョーキバ」「つけで、買ってきて置いて」信頼関係のなせる事です。人を信じる。

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/kantuku/saiji.htm>

24、勝ちがあれば、負けもある。

今日はその「勝ち」を観るたびにリモコンスイッチを手に変える切る自分がここに。

その球団が久米島キャンプを決定したとき、「よしチャンスかもしれない、店舗契約しよう」前仕事を廃業し、何か自分でなりわいを模索していた、前仕事のパソコン仕事を活用転化すればとインターネットを駆使し HP を立ち上げ、のちにインターネットショップに迷ってました、素人が運営出来るのか？ほんとうに迷ってました。その迷いを打ち消したのがその決定でした。久米島の活性は、久米島からの発信と信じ、自営独自運営 HP、ブログ、そして楽天市場店舗運営、不安ではじめましたが段々と運営のやり方が見えてやりがいを見つけた頃には沢山の経費を費やしていることも確かでした、資金もほとんどない状態で初めてますので、でも稼ぐシステムは整い「さあこれからだ」と意気込んでました。

現実はその甘くはない、そんなことは重々承知で押し通す心は捨てない、一度やりだしたら信じるだけ、半沢直樹で観るほんとの現実「持ちつ持たれつ」なんて存在しなくなるそれを信じるバカがここにいた、その商品特産品でなりわいする存在価値も計算にしてくれない、その企業システムを活用できてない方が悪い感じです。「すみませんが久米島の実店舗の新規改装で今月はその支出が大きいので、しばらくお待ち願います」発送そして商品の手配、お客さんへの配慮をしないと行けない末端の仕事場所なのに、そんなの関係ないことのように、支払いが遅れ、一方的にネットショップ改装中、閉店のシステム、それをされたらお客さんにも迷惑かけ、購入もされないので売上も止められる悪循環。確かに支払いを遅れる方が悪い、むかしの人作り会社は「持ちつ持たれつ」で日本の経済発展をもたらしたのも事実、現在はそれもないことに気づく負け惜しみ、楽天球団久米島キャンプ決定から7年余り楽天市場店舗出店小さくともいわばスポンサー、勝ち組であれば「一緒に喜んだのに」勝ち組にはいれない自分がここにいることも不幸中の幸いと思いたい。勝ち組は一杯喜んで良いお酒して下さい、そして負け組は、今日明日しばらくは悔しい思っているのも現実でしょう。

<http://takryou.pluto.ryucom.jp/>

25、第25回記念大会久米島マラソンと台風27号

台風27号がすぎて、天気もよくなり26日(土) 船便は「大丈夫だな」と思った、しかしこの台風日本を大荒れにしていた台風と海はどこまでも連動していることがわかる津波の恐ろしさも海が教えてくれる。さあ久米島マラソン予定の足が、離島のどうしようもないことの体験となる、友人即空港へキャンセル待ちすでに沢山のお客さんでひとりふたりしか消化しきれない、「次の便まで時間あるから空港そこらへんをウロウロしよう」アナウンスが聞こえない JTA さんの臨時便受付が発生しているのにそれを逃す、ショックはつきないが臨時便で沢山のランナーが乗れたので、次の便で乗れたホットし走れたとその経緯を打ち上げビールのネタに、しばらく走れた満足で会話も弾むころ、ひとりの外人さんと日本の女性2たりの方が、私の知り合いの兄さんに連れられ、私たちの輪に東京からのランナーで「走れなくてショックです」と、友人と一緒にキャンセル待ちの境遇、とうとう乗れずじまいでしたが、やむにやまれず大会当日の船で久米島入り、ひとりの女性はやっと乗れたみたいで「5時間で走れた」とでも彼女は喜べない気持ちが胸を打たれる、外人の男前のランナー「3時間は切れたのに調子良かったのに」と、私達も「これにめげないで来年走ろう」と言うが、どうしようもない心がそこにありました。

これからこの大会にはこんな台風が多くなりそうな気がします、日程も変更と考えるがもうない、今回の悲鳴そして離島のどうしようもないハンディを、キャンセル待の対応を JTA さんのご協力等色々のアイデアで克服できる、それをもっともっと台風にも負けないような対応、船のお客さんの大幅な出費にも対応、その日はランナー主役は久米島町民以上の対応を、ゼッケンを提示で特別離島割引等、久米島町民、実行委員会、それに関わる協賛の方の団結で、ハンディをプラスにかえることで久米島の活性に継る。その東京からのお客さんに「ありがとうございます」とそして「来年またお待ちしております」と。